

“現状いまを知らう”
ゾウの未来のために



8月12日 世界ゾウの日

絶滅ぜつめつの危機に瀕しているゾウの保護について、世界中で呼びかける日です

都立動物園の ゾウたち

地球上に約5400種生息している哺乳類のうち、ゾウの仲間はアジアゾウ、アフリカゾウ、マルミゾウの3種のみです。都立動物園では、上野動物園でアジアゾウ、多摩動物公園でアジアゾウとアフリカゾウの2種を飼育しています。アジアゾウとアフリカゾウは生息している地域が異なりますが、どちらも野生では、メスたちは群れをつくり、子育ても含めてたがいに助け合いながら暮らします。一方、オスは成長す

ると生まれた群れを出て、単独またはオスだけのグループで行動します。



■アジアゾウ



■アフリカゾウ

野生のゾウは今、数が減っています

■ IUCN (国際自然保護連合) レッドリストのカテゴリ

アフリカゾウ

VU: 絶滅危惧II類

マルミミゾウ

VU: 絶滅危惧II類

アジアゾウ

EN: 絶滅危惧IB類

1970年代

100万頭



現在

35万頭

1970年代

17万頭



現在

7万頭



現在

4万頭

理由
数が減った

象牙をねらった密猟



象牙は世界各国で工芸品や装飾品、ピアノの鍵盤などに、日本では印鑑や三味線のパチなどに利用されてきました。1989年ワシントン条約により国際取引が禁止されましたが、その後もゾウの密猟や象牙の違法な輸出入は続いています。

森林伐採による生息地の減少



東南アジアでは、自然の森の伐採が進んでいます。その目的は、植物油(パーム油)をとるためのアブラヤシや、紙の原料となるアカシアの木の栽培です。これらから、私たちの日常生活に欠かせない商品が作られています。

ゾウを守るために

動物園に
できること

ゾウについて調べる



ゾウの生理・生態を研究し、飼育や繁殖に役立てます

ゾウを増やす



他の動物園とも協力し、繁殖に取り組んでいます

ゾウについて伝える



多くの人に、ゾウの魅力や野生での現状を伝えています

一人一人に
できること

1. 今日 動物園で知ったことをTwitterやFacebookなどのSNSで発信する
2. ゾウの保護に関わっている保護団体に寄付をする
3. 象牙製品を買わない
4. 食べ物や日用品をムダにせず 使用量を減らす
5. 環境に配慮された商品を選ぶ



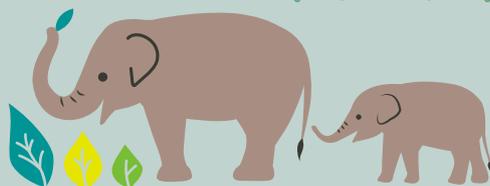
RSPO認証ロゴ



FSC認証ロゴ

←これらは、森を守りながらパーム油や紙が作られていることを証明するマークです。このチラシもFSC®認証で作られています。

千里の道も一歩から。今日をきっかけに、ゾウを守るために自分ができること、始めてみましょう。



恩賜上野動物園

開園時間 9:30~17:00 (最終入園 16:00) / 月曜休園 (祝日等の場合は翌日) / 東京都台東区上野公園 9-83 / TEL: 03-3828-5171(代)

入園料: 一般 600円・65歳以上 300円・中学生 200円 ※小学生以下及び都内在住、在学の中学生は無料

公益財団法人東京動物園協会 / 恩賜上野動物園 (台東区上野公園 9-83) / 動物取扱業登録 展示 17 東京都展第 001465号 (2007.3.15~2022.5.23) 動物取扱責任者: 冨田恭正

多摩動物公園

開園時間 9:30~17:00 (最終入園 16:00) / 水曜休園 (祝日等の場合は翌日) / 東京都日野市程久保 7-1-1 / TEL: 042-591-1611(代)

入園料: 一般 600円・65歳以上 300円・中学生 200円 ※小学生以下及び都内在住、在学の中学生は無料

公益財団法人東京動物園協会 / 多摩動物公園 (日野市程久保 7-1-1) / 動物取扱業登録 展示 16 東京都展第 100446号 (2007.3.15~2022.3.14) 動物取扱責任者: 金子美香子